

# みどりかがやく

## 自然の恵みへの感謝と生命への畏敬の念

9月9日に種を撒いたダイコンを11月19日に1年生が収穫しました。6月12日～17日にかけて植え付けをしたサツマイモは11月16日に2年生が収穫しました。およそ2ヶ月でダイコンは種から立派に生長しました。また、サツマイモは苗から5ヶ月で大きく生長しました。ダイコンやサツマイモといった植物は、2ヶ月、5ヶ月という期間に劇的に生長します。私たちも刻々と変化する状況の中で確かな成長を遂げていきたいものです。



花壇のパンジー、ノースポール、ストック

1年生の理科の授業では、双子葉植物には主根と側根があることを学習しました。学校で収穫したダイコンはこのことを確かめるのに最適な教材です。白く太いダイコンの側面に2本の対になった細い側根が並んでいます。また、1年生の国語の授業では「ダイコンは大きな根?」という教材で、ダイコンの地上に出ている部分は胚軸で甘みが強く、地下に潜っている部分が根で辛みが強いことを学習しました。2年生が収穫したサツマイモは川越の特産品です。「栗(九里)より(四里)うまい、十三里」は川越が江戸からおよそ十三里の距離にあったため、キャッチコピーのように使われています。川越イモがなぜ名産品になったかについては川越市のホームページに詳しく説明がありますが、寒さが苦手なサツマイモを川越で栽培するために、堆肥を発酵させることによって得た熱を利用したことも重要なことのひとつだと思います。

収穫では、はじめてダイコンを抜いた生徒もいたようです。また、サツマイモがひげ根のようになっている様子に気がついた生徒もいたと思います。高階西中では、生徒たち自らの体験を通して、収穫の喜びを感じるとともに、種や苗が時間とともに変化することに不思議さを感じ、自然の恵みへの感謝の気持ちをもってほしいと考え、植物の栽培を行っています。そして、そのことが、食べ物を大切にすることや、食品ロスの問題に関心をもつことにつながるとうれしく思います。今年はダイコンもサツマイモも豊作でした。ダイコンはまだ学校ファームにありますので、この後、近隣の施設などへお届けする予定です。また、サツマイモは2年生の生徒だけでなく、1・3年生の希望する生徒にも持ち帰ってもらいました。

11月26日には、花壇にパンジー、ノースポール、ストックの植え付けを環境委員の生徒が行いました。これらの花は、これから訪れる厳しい冬を乗り切り、やがて訪れる春まで花を咲かせます。私たち人も、つらいことにも耐えられる強さがあるからこそ、その後訪れる喜びを一層うれしく感じるのだらうと思います。植物を栽培したり、観察したりすることによって、生命への畏敬の念をもつとともに、これから生きていく上でのヒントをみつけられることを願っています。